

航空武器整備員(1/2)

1 仕事の内容等

航空武器整備員は、魚雷、機雷等の弾薬の整備及び航空機への搭載、それらを投下管制する装置等の整備を行っています。また、緊急時に生命を守る落下傘、救命胴衣、救命浮舟等の救命器材の整備も行っています。また、希望すれば航空機に搭乗する機体武器員として選抜されます。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、航空整備要員として約1年間航空部隊等で勤務。その後、第3術科学校の海士航空武器整備課程(3ヶ月)を経て、航空武器整備員として航空部隊等で勤務します。

3 主な勤務地

固定翼部隊(厚木、下総、八戸、鹿屋、岩国)、回転翼部隊(館山、大湊、舞鶴、小松島、大村)、第3術科学校等の教育部隊などがあります。



(固定翼機へ弾薬搭載)



(整備した物糧傘が投下される)



(回転翼機へ弾薬搭載)

航空武器整備員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許

高圧ガス製造保安責任者、火薬類取扱保安責任者、大型運転免許、フォークリフト、玉掛け、クレーン

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊(練習員等課程)	航空部隊等 (航空整備要員)	第3術科学校(海士 航空武器整備課程)	航空部隊等 (航空武器整備員)	教育隊(初任海曹課程)	航空部隊等 (航空武器整備員)	第3術科学校(海曹 航空武器整備課程)	航空部隊等 (航空武器整備員)		

6 先輩からの一言



そこで迷っている諸君

我々と一緒に

汗を流そう！！

